学校番号	315

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「MOUSA２」（教育芸術社 出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では、さまざまなジャンルの作品に取り組み、表現力を伸ばします。
・器楽では、ギター、キーボード等身近な楽器に加え、ヴァイオリンや箏にも取り組みます。基本的な知識・奏法をもとにより発展的な内容を学び、その楽器独自の良さ、美しさを味わいます。
・鑑賞や創作活動を通じて音楽経験を豊かにし、感性を高め、表現の幅を広げます。
・授業では、個人での活動だけでなく、ペア、グループでの活動も行います。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、他者と協働して活動する喜び、心が動く瞬間を感じながら、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。
(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しむ態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解を深めている。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関わりを知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	音楽の諸活動に主体的・協働的に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱(二重唱)	【歌唱】 ・「ホール・ニュー・ワールド」(二重唱)	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解を深め、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能、及び二重唱の表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱している。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技ﾃｽﾄ	実技ﾃｽﾄ	振り返りシート 観察
	ギター弾き語り	【器楽】 ・ギター弾き語り 「糸」	a: 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解を深め、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、演奏している。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技ﾃｽﾄ	実技ﾃｽﾄ	振り返りシート 観察

	鑑賞①	【鑑賞】 オペラ ミュージカル	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:主体的・協働的に活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
2学期	歌唱(独唱)	【歌唱】 ミュージカル「レ・ミゼラブル」 より(独唱)	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解を深め、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱している。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技ﾃｽﾄ ワークシート	実技ﾃｽﾄ ワークシート	ワークシート 観察
	鑑賞②	【鑑賞】 ヴァイオリン曲	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴、ヴァイオリンの音色の特徴について理解を深めている。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:主体的・協働的に活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察

	ヴァイオリン演奏	【器楽】 ヴァイオリン演奏 アンサンブル	a:曲想とヴァイオリンの音色や奏法との関わりについて理解を深め、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、演奏している。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	チェックテスト	チェックテスト	振り返りシート 観察
3学期	箏演奏	【器楽】 箏演奏 アンサンブル	a:曲想と箏の音色や奏法との関わりについて理解を深め、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、演奏している。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	振り返りシート 観察
		【創作】 五音音階を使ったメロディ創作	a:音階の特徴について理解を深め、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な旋律をつくる技能を身に付け、創作している。 b:音楽を形づくる様々な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察

	鑑賞③	【鑑賞】 日本を含む、様々な国・地域の音楽2	a:日本を含む、様々な国・地域の音楽の特徴について理解を深めている。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:主体的・協働的に活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	グループアンサンブル	【器楽】 ・任意の形態でアンサンブル	a:様々な演奏形態による表現の特徴について理解を深め、他者との調和を意識して演奏する技能、及びアンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、歌唱・器楽で表している。 b:楽曲の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、双方の関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:表現活動の喜びを味わいながら主体的・協働的に活動に取り組もうとしている。	実技ﾃｽﾄ	実技ﾃｽﾄ	活動記録 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度